

平成28年全国広報コンクールで「四街道こども記者クラブ」の取組みが日本広報協会会長賞（入選）を受賞

公益社団法人日本広報協会が主催する平成28年全国広報コンクールの総合審査会にて、広報誌等5媒体10部門（全503点）について審査が行われ、広報企画部門（全74点）において、本市の「こどもの視点で地域づくり～こどもたちと共につくるまちのメディア～」（四街道こども記者クラブ）が日本広報協会会長賞（入選）を受賞しました。

なお、全5媒体10部門において、千葉県内で入選した作品は本市のみとなっております。



1. 四街道こども記者クラブ

■市内小学生の「こども記者」と、地域の学生や大人、行政が連携して、「こどもの視点」によるまちの情報を発信する活動。

今年度活動開始5年目を迎え、これまで、市内イベント等の取材、広報紙と連携した「こども記者クラブ通信」の発行、こども記者展の開催などを実施。また平成27年2月には東日本大震災の被災地である東松島市での取材をまとめた「東松島市取材特別号」(1,000冊)を制作。

2. 表彰

■平成28年6月17日(金)第53回全国広報広聴研究大会(滋賀県)において表彰

3. 審査会の講評

地域づくりの担い手となる(あるいはすでに担い手である)子どもたちの社会参画を促し、地域づくりの人材育成を図ると同時に子どもの視点から地域づくりを考えるという点に着目した企画だ。こども記者クラブという場を設け、被災地の取材を通して、社会を見る目、社会参画への関心を高めるという展開がいい。子どものころから社会を見る視点を持つことは大事で、参加した子どもたちにとっては記憶に残るいい体験になったことだろう。単なる体験に終わらず、地域の主人公として自らを意識させる取り組みになっていることもいい。それにとどまらず、「こども記者クラブ」活動を支えるために、高校生から大人までの若者たちがスタッフとして参画できる仕組みを持ったことが、とりわけ高く評価できる。

(四街道こども記者クラブ)

web

<http://kodomokisha.jp/>

Facebook

<https://www.facebook.com/kodomokisha/>

経営企画部シティセールス推進課

担当: 齋藤久光

☎ 043-421-6162